

## 演劇指導受け表現力磨く 松島中で授業

那覇市立松島中学校(又吉史晃校長)は13~17日、文化庁のコミュニケーション能力向上を図る事業を活用した授業を行った。2年生を対象に、県内の劇団チーム・スポット・ジャンブル(TSJ)の役者らがワークショップの講師を務めた。生徒は表現力を磨いて自分たちで作品のストーリーを考え、話し合いによる合意形成の大切さを学んだ。

2年生6クラスが「総合的な学習の時間」の2コマを使って取り組んだ。初回はグループに分かれ、自分たちで考えた題材を基にジェスチャーゲーム

対話で合意形成大切さ学ぶ

で表現力を養った。最終回はこれに「SF」「ホラー」「ファンタジー」「ラブストーリー」といった異なるジャンルになるよう課題が与えられ、生徒たちはせりふや筋書きを考えて発表した。

TSJの島袋寛之さんら講師は「答えのない課題に対してチームワークをどう発揮し、いかに合意形成をしていくかが鍵になる」などと語り、生徒たちにアドバイスを送った。

16日の2年6組の授業では、TSJのメンバーらが各グループ一人一人の演技やせりふの良かったところを褒めた。最後に生徒は振り返りながら、出



てきた課題と向き合った。

演技を楽しんだ新城りこさんは「周りの雰囲気を見て自分の意見をちゃんと出すのは難しいが、そこをしっかりとできたらいい作品ができ、良いことがいっぱいあるんだと感じた。これからのグループ学習にも生かしたい」と話した。

(社会部・新垣亮)

TSJのメンバーの指導を受けながら演技を楽しむ生徒たち16日、那覇市立松島中学校